

「笑顔は人を幸せにする最大のアイテムである」

北海道 P T A 連合会
会 長 菊川 哲平

令和 3 年度第 65 回帯広市 P T A 連合会研究大会が多くの会員並びに教育関係者の皆様の参加のもと、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。併せて、日頃より北海道 P T A 連合会の活動に対し多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年度は様々な制限があった中で各 PTA 活動が取り組みづらい 1 年を過ごしたのではないのでしょうか。私たち北海道 PTA 連合会といたしましても「親の学びを止めない活動」と考え推進してまいりましたが、感染症の蔓延や変異株による猛威もあり、通常開催している全道研究大会の中止や諸会議等も通常とは違う形での開催に余儀なくされる事になりました。地区 PTA の皆さんにも本研究大会等の開催にあたり非常に苦慮されながら開催していただいた地区も数地区ありました。従来 of 活動の在り方や方法を見直し、その中でも最善な方法を模索し取組んだ 1 年ではなかったのでしょうか。

日々「子どもたちを想い」と掲げ活動を行っておりますが、感染リスクを回避しながらの活動はなかなか難しいものがあります。しかしながら、この状況下にあっても子どもたちが通う学校では最善の対策を考えながら日々授業を進めていただいている教職員の皆様には本当に感謝しかありません。子どもたちがどんな状況にあっても元気に学校に通える事、友達と会い・会話をすることは普段の生活を送る中で一番のストレス解消だと思います。通年行事等、縮小や時短、無観客での開催など様々な対策を施してではありますが、学校として最大限できる方法を、そして先ずは子どもたちの思い出を第一に考え行っていただいておりますので、私たち保護者としては子どもたちの学校での様子を見る機会が少なくなり若干の寂しさはありますが、どうか学校運営にしましてご理解をいただければ幸いです。

今年度もまだまだ PTA 活動も含め様々な取り組みが制限されると思います。

このような状況ではありますが、私たちは様々な事柄について出来ない理由よりも出来る理由を先ずは考えていく事が大事だと思います。そして今だから出来ること、今しか出来ない活動を模索しながら進む事が今後の活動に向けての第一歩になると思います。私たち PTA は北海道の子どもたちそれぞれの教育環境づくりに少しでも関わり合いを持つ事や、沢山の子育て等に関する情報を知る事がとても大事であり、その中で様々な活動時には是非皆さんの楽しさ溢れる姿を子どもたちに見せていただきたいと思います。

～笑顔は人と人を繋げるきっかけを作ってくれる。そしてその笑顔は幸せを運んでくれる～
親が楽しそうに笑って過ごしている姿はきっと子どもたちの心のゆとりに繋がります。

そして、そのゆとりこそが子どもたちの笑顔に反映されてくるはずです。

私は、『子どもたちの笑顔はこの社会に勇気と希望をもたらしてくれる』と思っています。

多くの子どもたちの笑顔がこの北海道の全ての地区で溢れることを願い、どのような状況においても前を向く力を育んだ子どもたちが将来の北海道を作り上げてくれるでしょう。

キーワードは「笑顔」です！子どもたちだけではなく私たち大人も笑顔で北海道を勇気づけましょう。

結びになりますが、今回開催されます地区研究大会は、子育てをする親の勉強の場であり、子どもに関する様々な情報を知る場所でもあります。これを大いに活用して自分の子育てに役立てるとともに、研究大会で学んだ事をそれぞれの地区において発信していただければ幸いです。本日、貴地区の研究大会が盛大に開催される事、そしてこのような状況でも感染防止対策を講じ開催に向け取り組んでいただいた事に感謝するとともに、皆様にとってまた子どもたちにとって大変意義のある大会である事を願っております。本研究大会の盛会をご祈念し、沢山の情報が各市町村 PTA、そして各単位 PTA へと伝わっていく事をご期待申し上げ、祝辞とさせていただきます。